

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公開番号】特開 2006-101057(P2006-101057A)

【公開日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報 2006-015

【出願番号】特願 2004-283112(P2004-283112)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 B

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体を撮影してその画像データを生成する撮像部と、生成された画像データを表示部に表示するための表示メモリと、記録媒体に記録するための画像データを記録する記録メモリと、を備えた電子スチルカメラにおいて、

前記撮像部の撮影のためのフレームレートを設定する第 1 のフレームレート設定手段と、

この第 1 のフレームレート設定手段によって設定されるフレームレートよりも遅い第 2 のフレームレートを設定する第 2 のフレームレート設定手段と、

前記第 1 のフレームレート設定手段または前記第 2 のフレームレート設定手段によって設定されたフレームレートで前記表示メモリを書き換えて前記表示部に被写体のビデオスルー画像を表示するスルー画像表示手段と、

前記撮像部からの画像データを前記画像メモリに一時的に記憶する画像データ記憶制御手段と、

撮影指示を検出する撮像指示検出手段と、

この撮像指示検出手段によって撮像指示を検出すると、撮影指示検出時に前記スルー画像表示手段によってスルー表示されている画像に対応する画像データを前記画像メモリから取り出して前記記録メモリに記録する画像データ記録制御手段と、

を備えたことを特徴とする電子スチルカメラ。

【請求項 2】

前記電子スチルカメラは被写体の撮像方向と前記表示部の表示方向が可動に構成され、前記撮像方向と前記表示方向とが略一致するか否かを判断する判断手段を更に備え、前記第 2 のフレームレート設定手段は、前記判断手段によって前記撮像方向と前記表示方向とが略一致していると判断されたときに設定されることを特徴とする請求項 1 記載の電子スチルカメラ。

【請求項 3】

被写体を撮影してその画像データを生成する撮像部と、生成された画像データを表示部

に表示するための表示メモリと、記録媒体に記録するための画像データを記録する記録メモリと、を備えた電子スチルカメラが具備するコンピュータを、

前記撮像部の撮影のためのフレームレートを設定する第1のフレームレート設定手段、この第1のフレームレート設定手段によって設定されるフレームレートよりも遅い第2のフレームレートを設定する第2のフレームレート設定手段、

前記第1のフレームレート設定手段または前記第2のフレームレート設定手段によって設定されたフレームレートで前記表示メモリを書き換えて前記表示部に被写体のビデオスルー画像を表示するスルー画像表示手段、

前記撮像部からの画像データを前記画像メモリに一時的に記憶する画像データ記憶制御手段、

撮影指示を検出する撮像指示検出手段、

この撮像指示検出手段によって撮像指示を検出すると、撮影指示検出時に前記スルー画像表示手段によってスルー表示されている画像に対応する画像データを前記画像メモリから取り出して前記記録メモリに記録する画像データ記録制御手段、

として機能させることを特徴とするプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電子スチルカメラ、及び、プログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、電子スチルカメラ、及び、プログラムに関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、上記従来技術の課題を解消し、シャッターチャンス時の画像を確実に撮影し得る電子スチルカメラ、及び、プログラムの提供を目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記課題を解決するために、請求項1に記載の発明は、被写体を撮影してその画像データを生成する撮像部と、生成された画像データを表示部に表示するための表示メモリと、記録媒体に記録するための画像データを記録する記録メモリと、を備えた電子スチルカメラにおいて、前記撮像部の撮影のためのフレームレートを設定する第1のフレームレート設定手段と、この第1のフレームレート設定手段によって設定されるフレームレートよりも遅い第2のフレームレートを設定する第2のフレームレート設定手段と、前記第1のフレームレート設定手段または前記第2のフレームレート設定手段によって設定されたフレームレートで前記表示メモリを書き換えて前記表示部に被写体のビデオスルー画像を表示

するスルー画像表示手段と、前記撮像部からの画像データを前記画像メモリに一時的に記憶する画像データ記憶制御手段と、撮影指示を検出する撮像指示検出手段と、この撮像指示検出手段によって撮像指示を検出すると、撮影指示検出時に前記スルー画像表示手段によってスルー表示されている画像に対応する画像データを前記画像メモリから取り出して前記記録メモリに記録する画像データ記録制御手段と、を備える。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、請求項2に記載の発明は、上記請求項1に記載の発明において、前記電子スチルカメラは被写体の撮像方向と前記表示部の表示方向が可動に構成され、前記撮像方向と前記表示方向とが略一致するか否かを判断する判断手段を更に備え、前記第2のフレームレート設定手段は、前記判断手段によって前記撮像方向と前記表示方向とが略一致していると判断されたときに設定される。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、上記課題を解決するために、請求項3に記載の発明は、被写体を撮影してその画像データを生成する撮像部と、生成された画像データを表示部に表示するための表示メモリと、記録媒体に記録するための画像データを記録する記録メモリと、を備えた電子スチルカメラが具備するコンピュータを、前記撮像部の撮影のためのフレームレートを設定する第1のフレームレート設定手段、この第1のフレームレート設定手段によって設定されるフレームレートよりも遅い第2のフレームレートを設定する第2のフレームレート設定手段、前記第1のフレームレート設定手段または前記第2のフレームレート設定手段によって設定されたフレームレートで前記表示メモリを書き換えて前記表示部に被写体のビデオスルー画像を表示するスルー画像表示手段、前記撮像部からの画像データを前記画像メモリに一時的に記憶する画像データ記憶制御手段、撮影指示を検出する撮像指示検出手段、この撮像指示検出手段によって撮像指示を検出すると、撮影指示検出時に前記スルー画像表示手段によってスルー表示されている画像に対応する画像データを前記画像メモリから取り出して前記記録メモリに記録する画像データ記録制御手段、として機能させる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 8
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 0
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 2
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 1 6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 3
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 2 3】

本発明によれば、第 1 のフレームレートよりも遅い第 2 のフレームレートが設定されても、撮影指示検出時にスルー表示されている画像に対応する画像データを記録することができるので、シャッターチャンス時の画像を確実に撮影し得る。